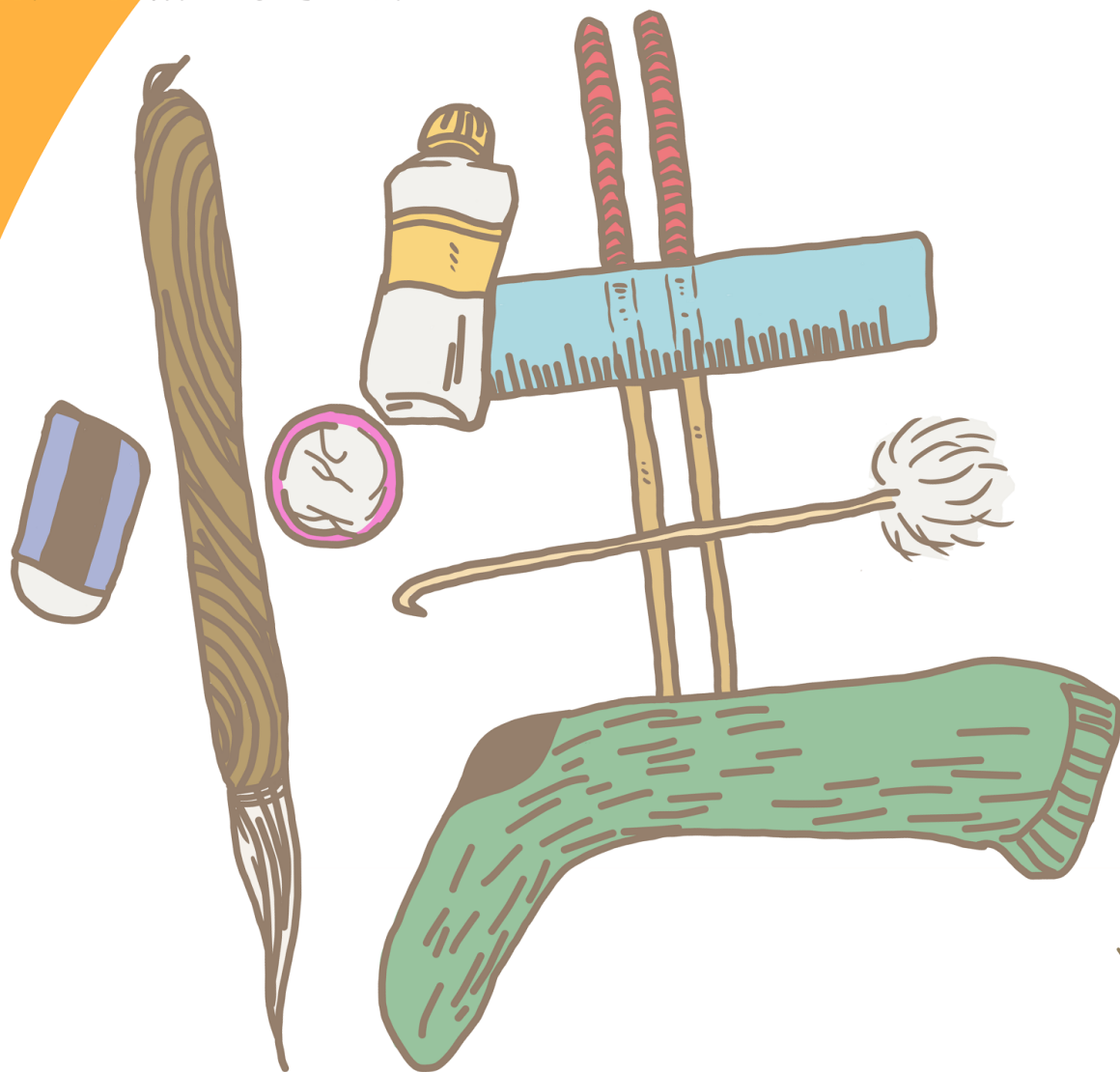


今日、性暴力や性感染症の増加、日常的なデートDVなど、若者と性をめぐる問題は深刻の度を加えつつある。他方で、人間関係を積極的に形成できない若者の現状も指摘されている。こうした状況に対して、学校教育はいかにあるべきか。また、いわゆる「LGBT」など、性的少数者をめぐる問題も近年顕在化している。学校教育だけでなく、これまで追求されてきた最先端の性教育も、性の多様性という観点から改めて問い直されていると言うこともできるだろう。

あなたはどうか応える？



第21回男女共同参画フォーラム

性教育は、今

FD研修

若者と「性」—学校教育ができること

2016年11月5日(土)14:00-17:30

講義棟S410

<講演> 「日本の若者の性愛に関する意識と行動」

羽瀨一代 (弘前大学 人文社会科学部 准教授)

「日本における性教育の現状—子どもの要求に応える性教育を」

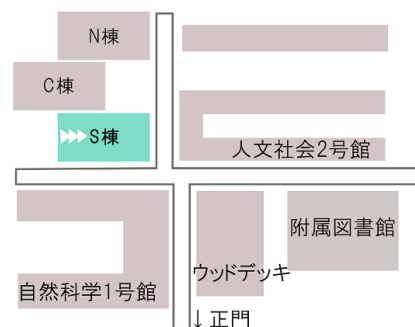
田代美江子 (埼玉大学 教育学部 教授)

<報告> 「教科書記述の現状」 学生サポーター

<座談会> コメント：鈴木琴子 (東京学芸大学 養護教育講座 講師)

講演者と本学学生サポーター

フロアとの質疑応答



<お問合せ>

東京学芸大学 男女共同参画支援室(合同棟2階) ▶TEL・FAX 042-329-7894

▶MAIL shien1@u-gakugei.ac.jp ▶URL //www.gakugei.ac.jp/~danjo/